

# 感染症対策の 評価・検証は



月田 均



町長

評価できるものと  
認識している

**質問** この2年間、新型コロナウイルス感染症対策（感染予防、ワクチン接種、経済対策等）に取り組んできたが、これらをどのように評価しているか。

**答弁** 町長 感染予防対策では注意喚起のための情報発信、感染対策物品の必要な場所への提供等の対策を講じた。ワクチン接種では集団接種を早期の段階で実施し、希望者に提供することができた。その結果、感染予防や重症化予防の観点で評価できるものと認識している。しかし、まだコロナ禍を脱するまでには至っておらず、今後も必要な対策を講じていく。

経済対策については、緊急経済対策資金、小規模事業者支援、住宅等リフォーム支援、プレミアム付商品券の発行、キャッシュレス化推進・消費喚起事業等を行い、地域経済の活性化とともに、町内事業者の支援にもつながったと考えている。

なお、今回の感染症対策は誰もが経験したことのない事態での職務であり、町が一丸となって困難な状況に立ち向かうことの大切さや団結力を感じ取ることができた。

## プラスチックごみ削減への取組は

**質問** プラスチック資源循環促進法が令和4年4月から施行された。今後、町はどのように取り組んでいくか。

**答弁** 町長 現在、町ではペトボトルと食品トレイをリサイクルしているが、今後は焼却処分している廃プラスチックを分別収集し、再商品化することを検討していく。

## 個人住宅への消火器の設置について

**質問** 火災防止を目的に、以



我が家の消火器も購入から35年

前は消防団員が各家庭を回り、消火器の購入を勧めていたように記憶している。現在、消火器のない家庭、あっても有効期限切れの消火器が多いのではないかと。町の対応は。

**答弁** 町長 火災が起きてしまった場合の初期消火には消火器が有効である。今後、広報等で設置を勧めるとともに、消火器の点検、交換をお願いしながら、防火意識の向上に努めていきたい。

**こんな質問もしています**  
・フォトコンテストを毎年の実施に戻せないか

# たまりんの 運用見直し方法は



松本 幸喜



町長

現状を分析し  
庁内検討会議で協議

**質問** たまりんの運用について、どのような方法で見直しを行うのか。

**答弁** 町長 たまりに限らず、住民の移動に関するニーズは多岐にわたっていることから、現状の分析を行い、課題を抽出して、解決に向けた対策を研究・検討していきたい。

進捗状況としては、町が行っている移動に関する支援制度について、関係各課へ調査を実施した。今後、企画課と環境安全課で現状の把握と課題の共有を行った上で、移動に関するニーズを調査し、その課題解決に向けた研究や協議を関係各課と連携しながら、庁内検討会議で進めていきたい。

**質問** 最終的な計画立案はいつ頃までに行うのか。

**答弁** 町長 具体的な時期は明確には答えられないが、今年度中に移動に関する基

本方針を決定し、たまりんをはじめとする交通機関等の見直しに関する計画策定に着手したいと考えている。

## 空き家除却後の土地の活用は

**質問** 空き家除却補助事業において、町では今までに24件の補助を行っている。除却後の土地はどのように活用されているのか。

**答弁** 町長 除却補助事業は空き家の除却を目的とし、除却後の活用方法については、申請・交付の条件としていない。除却後の土地を目視で確認したところ、令和4年5月現在、家屋の新築または新築中8件、売地4件、更地8件、駐車場等4件となっている。

## 図書館の利用促進について

**質問** 町立図書館の利用を促す対策は。

**答弁** 教育長 町内の小学1年生に、学校を通じて図書館の利用カードを毎年発行し、本への関心や読書習慣に結びつけられるようにしている。また、定期的に大人向け「ミニシアター」、子供向け「映画会」、読書習慣の動機となるような「読み聞かせ等の講習会」、本への関心や興味が広がるような「お話会」、ボランティアとともに「読み聞かせ会」などを行っている。



充実した絵本コーナー（町立図書館）